

教えて!LGBTのこと

～多様な性を知る 自分らしく生きられる社会へ～

「男だから泣くな、しっかりしろ」「女らしくしなさい」などジェンダー^(※1)にとらわれた言葉に窮屈さを感じた経験は、誰にでもあるのではないのでしょうか。一人ひとりの個性が尊重され、その能力が十分に発揮できる環境づくりを進めていくことは、性のあり方に関わらず、全ての人が暮らしやすい社会をつくるために大切なことです。

ところで、ここ数年メディアに「LGBT（エルジービーティー）」という言葉が登場するようになりました。新聞、ドラマや映画などで、皆さんも目や耳にしたことがあると思います。

言葉を聞いたことはあるけれども、意味はよくわからないといった方もいらっしゃるかもしれません。今回はLGBTについて正しい知識を一緒に学んでいきましょう。

※1 ジェンダーとは：社会によって作り上げられてきた「男性像」「女性像」

◎LGBTって何？

Lesbian(レズビアン) ……同性を好きになる女性
Gay(ゲイ) ……同性を好きになる男性
Bisexual(バイセクシュアル) ……両方の性を好きになる人
Transgender(トランスジェンダー) ……からだの性とところの性が異なる人

「LGBT」はこの4つの単語の頭文字から取られた言葉です

性について考えるには4つの指標があります

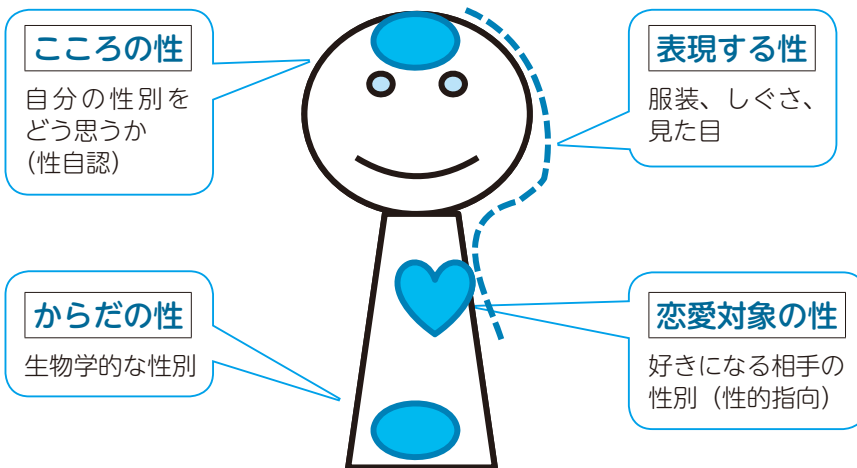


表1) レズビアンのAさん(例)

	男	女
【からだの性】		●
【心の性】		●
【表現する性】		●
【恋愛対象の性】		●

表2) トランスジェンダーのBさん(例)

	男	女
【からだの性】		●
【心の性】	●	
【表現する性】	●	
【恋愛対象の性】		●

では、LGBTの人ではこの4つの指標がどのようになっているのでしょうか？右の2つの表を見てください。

この表はあくまで一例です。男女に分けて表現していますが、どちらにもあてはまらないと感じる人や、この表では説明しにくいと感じる人などもあります。

そういった性的指向や性自認が典型的ではない人を総称する場合に「LGBT」という言葉で表記することもあります。

◎LGBTの人ってどれぐらいいるの？

民間の調査では人口の7.6% 約13人に1人の割合というデータもあります。周りの身近な友達や職場にLGBTの人がいるかもしれません。



LGBTかそうでないかは、外見では判断できません。

自分がLGBTであると知られると孤立したり差別を受けるのではという不安から、打ち明けられない人がいる可能性もあります。

◎ LGBTの人の中にはさまざまな生きづらさを抱えている人もいます。

当事者の声

例1) 今は身体上・戸籍上の性別で働いているが、本当は望む性別で働きたい。が、相談できる人がおらず、悩んでいる。

例2) どんなに長く連れ添っていたとしても、同性であるという理由で「家族」として認められず、アパート入居や病院での面会を断られる。

出典：職場のLGBT読本（著者：柳沢正和・村木真紀・後藤純一 実務教育出版）



アライ（Ally）という言葉を知っていますか？元々の意味は同盟者、協力者、支持者を意味する英語ですが、LGBTについての正しい知識を持ち、応援する気持ちを明確に持っている人々を指して使われることがあります。

身近な人がLGBTかもしれないと思った時

- ・無理に聞き出すことはせず、正しい知識をもって見守る。
- ・本人からカミングアウト^(※2)されても、本人の許可なく第三者に伝えない。

こういった行動により「アライ」となることができます。

※2 カミングアウトとは：自らの性的指向・性自認を、自分の意志で他者に伝えること

LGBTを含めた多様な性に対する知識を深め、どのような人にも「ありのままでいいよ」と寄り添える、そして誰もが自分らしく生きられる、そんな社会を目指しませんか？だって素敵なのは、性別に関係なく素敵なのですから。

LGBTに関する相談機関

- よりそいホットライン…☎0120-279-338（24時間 通話無料）
音声ガイダンスの後「4」を選ぶと性別や同性愛などに関わる相談につながります。
- 東京弁護士会セクシュアル・マイノリティ電話法律相談…☎03-3581-5515
（毎月第2・第4木曜日 【祝祭日の場合は翌日の金曜日】17～19時）

【MOVIEコーナー】

「彼らが本気で編むときは、」（2017年・日本 監督・脚本：荻上直子）

母親に育児放棄をされた少女、友（トモ）が叔父の牧男とトランスジェンダーの恋人・倫子さんに出会い、共同生活をする様子を描いています。俳優の生田斗真さんがトランスジェンダーの女性を演じて話題になりました。

切り取られた日常の風景はごく当たり前ではあるけれど、それぞれが日々抱える悩みや問題は尽きることがありません。「編む」という行為、繋がる糸、一本の糸に託す想い、吐き出す想い…。

この映画は、登場人物一人ひとりの気持ちを噛みしめたいうえで、自分と向き合いたくなる、そんな作品です。【そよかせ協力員】



上から「赤、オレンジ、黄、緑、青、紫」の6色の旗をレインボーフラッグといい、LGBTの尊厳と社会運動を象徴しています。

協力員感想

- ★LGBTについてあまりよく知らなかったので、とても勉強になりました。まずは正しい知識を身につけることが大切ですね。（フェザー）
- ★これまでLGBTについて特に意識しないで過ごしていましたが、身近にいるかもしれないということが分かりました。正しい知識を身につけることが大切だと思いました。（シャチ）
- ★今回はとても多くのことを考える機会をいただきました。日常の何気ない会話で誰かを傷つけぬように、思いやりの心を持ち続けたいと思います。（チュウ）
- ★正しい知識を学ぶ良い機会となりました。まずは自分のできることから、小さな一歩を踏み出したいと思います。（モンブラン）

～市ではこんな取り組みをしています～

市では、行政手続きを行ううえで、必要な各種書類申請において、不必要な性別欄は削除することや男女以外の欄を設ける取り組みをすすめています。

また、LGBTに対する理解を深めるセミナーの開催、窓口や電話対応における配慮等を行っています。

～♪それいゆぶらざ（女性センター）をぜひご利用ください♪～

それいゆぶらざでは、情報・交流コーナーにおいて男女共同参画に関する図書貸し出しや情報発信（情報紙や講座のチラシの設置・インターネット閲覧など）を行っています。ぜひお立ち寄りください。また、男女共同参画社会の実現などの目的をもって活動する団体との協働を図るため、団体登録も行っています。

※男女平等推進情報「そよかせ」は、公募市民の企画・編集協力員と協働し、広報あさか3月号と9月号に掲載しています。

☎/それいゆぶらざ（女性センター） ☎463-2697